

菅章著「ネオ・ダダの逆説 反芸術と芸術」出版記念
アートプラザ 有形文化財（建造物）登録記念

講演会

ネオ・ダダ と 建築 菅章 × 島岡成治

対談

菅章 大分市美術館 館長
島岡成治 日本文理大学 副学長
司会
鈴木義弘 大分大学 教授

2022/11/17(木) 開場 17:30 18:00 - 19:30
アートプラザ 2F アートホール

主催

大分県建築士会、日本建築学会 大分支所
大分県建築士事務所協会、日本建築家協会 大分地域会
共催
アートプラザ

2022/11/17 (木)

□ 18:00 - 19:30 (90分) 開場 17:30

菅章 大分市美術館 館長 × 島岡成治 日本文理大学 副学長 対談

・場所：アートプラザ2F アートホール（大分市荷揚町3-31）

・駐車場：大分城址公園臨時駐車場 または 市営荷揚西駐車場

・定員：100名（関係者含む）、申込不要、無料

・タイトル：ネオ・ダダ と 建築

・概要：ネオ・ダダ と 磯崎新 と 旧県図書・アートプラザ と 文化財登録

・司会：鈴木義弘 大分大学 教授

□ 19:30 - 20:30 (60分)

菅章 大分市美術館 館長（回遊劇場 総合ディレクター）による

「回遊劇場 AFTER」ご案内ツアー ※申込不要

・場所：NTTアートシアター（NTT府内ビル別館 | 大分市府内町3-4-34）

□ 20:30 - 22:30 (120分)

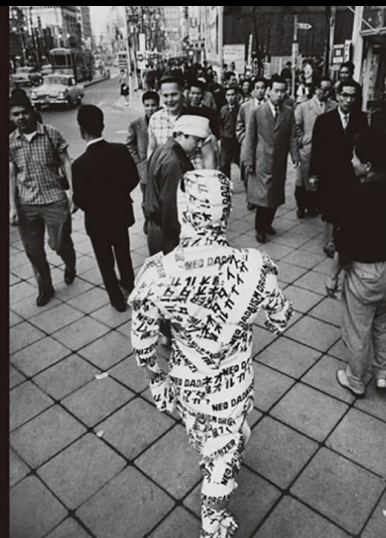
懇親会 | 出版記念 祝賀会 ※要申込 ※11/14(月) 締め切り

・場所：nando H.W.L ナンド ホール（大分市府内町3-7-34 zoo2階）

・定員：30名 程度

・会費：4000円

・申込：mail: info@shusakumatsuda.com / FAX: 097-574-6149



ネオ・ダダの逆説

反芸術と芸術

菅章

みすず書房

1960年代、日本美術界を席巻した前衛集団「ネオ・ダダ」とは何だったのか？ 本書では、吉村益信、風倉匠、赤瀬川原平、そして建築家の磯崎新らが展開した、大阪万博、千円札裁判など騒擾的なパフォーマンス、表現行為を分析・考察する。ネオ・ダダを長く研究してきた美術史家が、詳細な資料と達意の筆致を駆使して、彼らのアヴァンギャルド性を暴き出した渾身の評論。

目次

第I部 ネオ・ダダ盛衰史

第1章 新宿ホワイトハウスからネオ・ダダへ

1 「ネオ・ダダJAPAN 1958-1998」について

2 〈ネオ・ダダ〉前夜

3 ホワイトハウスと〈ネオ・ダダ〉の1960年

第2章 ネオ・ダダと反芸術

1 後期「読売アンデパンダン展」の熱気

2 渡米するアーティストたち

3 ポップ・アートと60年代前半のアート・シーン

4 千円札裁判と反芸術

第3章 アヴァンギャルド以後のネオ・ダダ

1 吉村益信の帰国と磯崎新の万博

2 躍進したネオ・ダダリストたち

3 日常性の見直し

4 〈ネオ・ダダ〉の遺伝子

5 なぜ今〈ネオ・ダダ〉なのか

第II部 ネオ・ダダリスト列伝

第4章 吉村益信

1 吉村益信の実験 実験の軌跡

2 吉村益信論 実験の分析-応答と責任

第5章 風倉匠

1 風倉匠における地と図

2 風倉の正体-パフォーマンスを中心に

第6章 赤瀬川原平

1 赤瀬川原平の根源 60年代の前衛とその終焉

第7章 磯崎新

1 磯崎新の原点-大分 アヴァンギャルドの聖地

2 美術家としての磯崎新

3 「磯崎新の謎」展の謎

あとがき



みすず書房



amazon.co.jp